

デジタル・シチズンシップ教育を進めています

文部科学省によるGIGAスクール構想により子供たちが一人一台端末タブレットを学習で活用するようになりました約6年が過ぎました。

「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All (全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)」を意味しています。大人がスマホやインターネットを使うことが当たり前になつていて、子供たちが大人になったときには、もっと技術革新が進み、ICTを使いこなすことが求められます。そのために、小学生の段階から学習の場において、一人一台端末タブレットで情報を検索したり、コミュニケーションをしたりと活用する能力を身に付けるようになりました。また、それに伴い、人を傷付けてはいけない、間違った情報を流してはいけないといった情報モラルについても指導が必要になりました。

今年10月からは、5年間使ってきたマイクロソフトWindowsのタブレットからからGoogleChromeに機種変更となりました。これを機に、デジタル・シチズンシップ教育を進めています。デジタル・シチズンシップ教育とは、単なる情報モラル教育を超えて、「健全で責任あるデジタル社会の一員としての意識と行動を育てる」という目的としています。学校では、自分のパスワードを友達に教えてしまったり、勝手に友達のパスワードを使って友達のアプリに侵入したりする事案がありました。このようなことがいけないことであるということについて、ご家庭でも話し合ってください。よろしくお願ひします。



浅井太鼓卒業コンサート

12月3日(水)に今年度最後、6年生の浅井太鼓大門キッズの子供たちにとって最終となる浅井太鼓の演奏を行いました。聴きに来てくださった保護者の皆さん、ありがとうございました。浅井小学校時代から受け継いできた伝統を、これからも守っていくために、今後、希望者を募り、オーディションを行っていきます。



人権週間 12月4日～10日

12月4日（木）から10日（水）の1週間は人権週間です。そして、10日は世界人権デーです。

「人権」とは、人が生まれたときから持っている権利のことです。だれでも、その人がその人らしく、幸せに生きる権利のこと、と子供たちに伝えています。互いの人権を大切にすることで、よりよい人間関係を築いていくことができます。

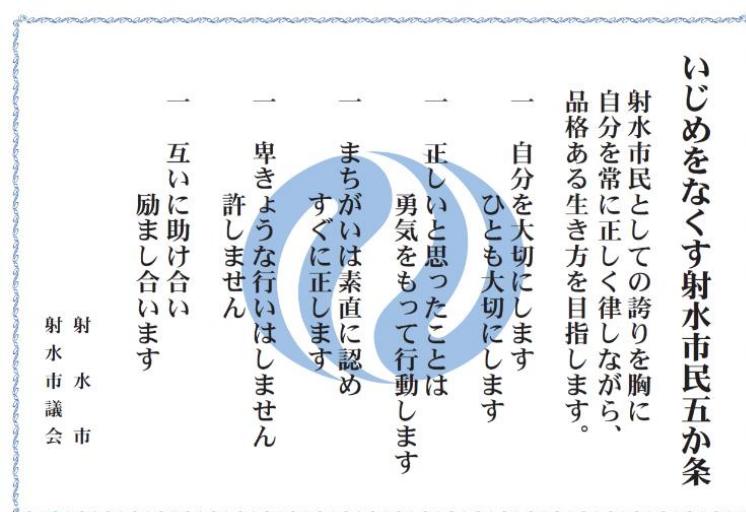
子供たちは、そのことを体験的に学びながら成長している途中です。それぞれの思いがぶつかり合い、けんかをするのも大切な経験だと思います。けんかやトラブルになった時に、互いのことを考え、よりよい解決をしていくことが大切であり、学んだことを繰り返さないことを身に付けてほしいと思います。

思いやり委員会では、子供たちが、人権意識を高められるように、給食の時間に「人権クイズ」をしたり、先生方による人権に関する絵本の読み聞かせを計画したりしています。

いじめをなくす射水市民5か条

射水市内の小中学校の教室には、「いじめをなくす射水市民5か条」が掲示してあります。この5か条の1つ目、「自分を大切にします」とは、まさに、お互いの人権を大切にしようということです。

人権週間を機に、教職員でも「いじめ防止対策委員会」を開き、日ごろからよりよい人間関係づくりや楽しい学校づくりについて、再確認しました。



SOSの出し方 困ったときは、マイサポーター

本校では、困ったことや悩みがあるときには、担任以外の先生にも相談できるマイサポーター制をとっています。子供たちには、悩みを一人で抱え込まず、気軽に相談できることを知らせています。また、学校には、週に1回、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの先生も来ていますので、今後、SOSの出し方についても指導していくたいと考えています。

